

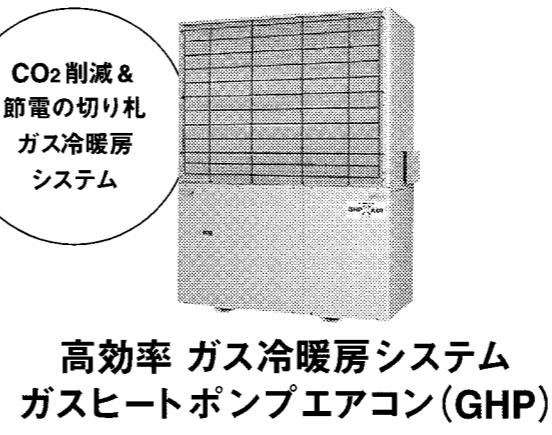


Design Your Energy / 明日をめざす

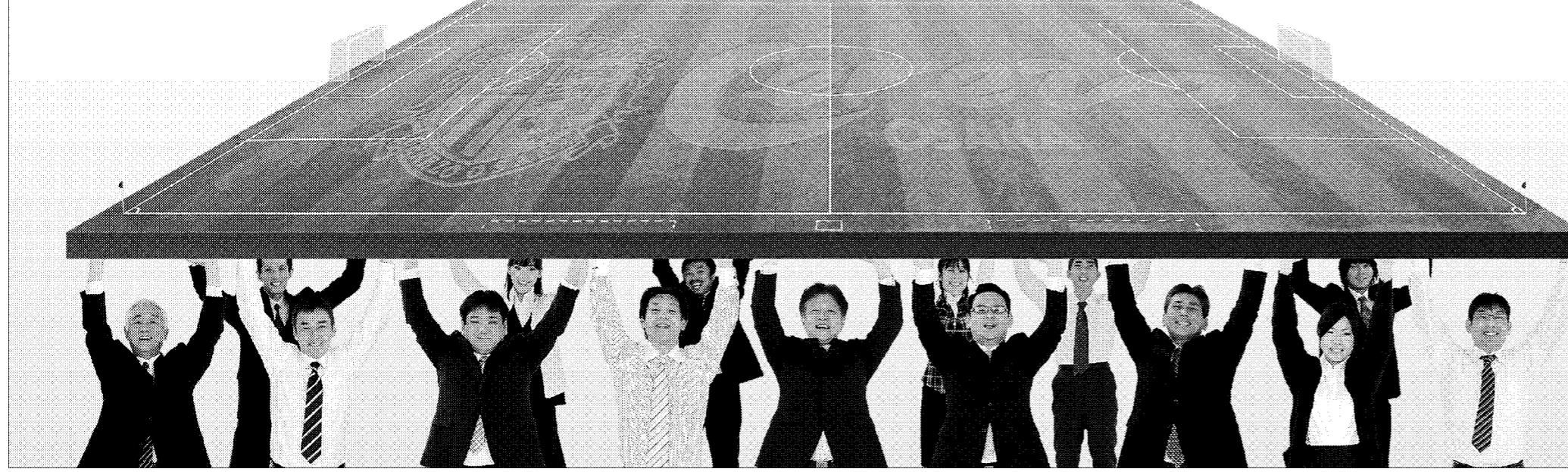
99大阪ガス

YANMAR
Solutionneering TogetherCerozo
OSAKA

大阪ガスとヤンマーは セレッソ大阪のCO2削減活動を支えています!



高効率 ガス冷暖房システム
ガスヒートポンプエアコン(GHP)



知らないうちに排出しているCO2。セレッソ大阪のゲームも例外ではありません。試合を見に来られた方が移動に使う交通機関から排出するCO2、スタジアムの照明をすることによるCO2。しかし、CO2を排出するからといってサッカーをやめてしまう世界を、わたしたちは望んでいません。排出したCO2は減らさなければいけません。

セレッソ大阪は、大阪ガスとヤンマーのサポートを受けて、2012年度「CO2ゼロチャレンジ」を実施します。

「CO2ゼロチャレンジ」とは、セレッソ大阪のホームゲームで排出されたCO2を、大阪市内の中小企業等がガスヒートポンプエアコン(GHP)等の高効率ガス冷暖房機器等を導入して削減したCO2で、オフセット(相殺)するプロジェクトです。

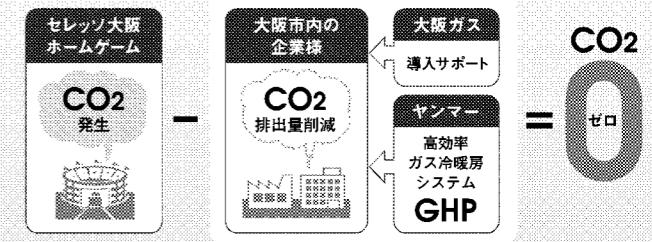
大阪ガスとヤンマーは、国内クレジット制度^(※3)を活用し、大阪市内の企業における高効率ガス冷暖房機器等の導入を支援、セレッソ大阪の「CO2ゼロチャレンジ」を応援しています。

温暖化防止を大阪から。
熱い試合を快適な環境で楽しんでいただるために。

※1: 1997年比(ヤンマー製品比較)

※2: 同一容量の場合、消費電力は電気空調の約1/50です。(大阪ガス調べ)
オフィスビルにおける電力消費量の28%が空調に使われています。
(省エネルギーセンターホームページより)

※3: 大企業の技術・資金等を提供して中小企業等が行った温室効果ガス排出抑制のための取組みによる排出削減量を認証し、大企業等が自主行動計画や試行出荷量取引スキームの目標達成等のために活用する制度



□本件に関するお問い合わせ先
大阪ガスホームページ <http://home.osakagas.co.jp/info/info.html>

水素社会幕あけ クリーンエネルギー革命始まる



水素社会幕あけ

11月12月に開催された東京モーターショー。次世代環境車として電気自動車(EV)が脚光を浴び、スマートハウスとの連携なども注目された。そのEVの陰に隠れながらではあったが、FCVも実用化への動きが着実に前進していることを示した。その代表がトヨタ自動車が開催したFCVのコンセプトカー「FCV-R」70kg級の高圧水素タンクを搭載し、約100kmの航続距離を達成した中型セダンで、15年ごろの市場導入を検討しているという。水素を燃料とし、走行による排出ガスや二酸化炭素(CO2)を一切出さないFCVは究極のエネルギー源として利用する初めての本格的なアプローチであるといつある。このFCVの普

一般的なEVは、水素を燃料とするだけではない。FCVの意義は水素をエネルギー源として利用する初

回の「EV」ではない。FCVの実用化は、実は自動車の環境対応を意味するだけではない。FCVの普及度合いによっては、水素を燃料として、走行による排出ガスや二酸化炭素(CO2)を一切出さないFCVは究極のエネルギー源として利用する初めての本格的なアプローチであるといつある。このFCVの普

液体水素の流通増 圧縮ガス比 輸送量10倍

圧縮ガス比 輸送量10倍